

# 事業活動・CSRハイライト2007

H i g h l i g h t 2 0 0 7

## 「ニッパツ三ツ沢球技場」ネーミングライツを契約

当社は横浜市との間で、同市内にある三ツ沢公園球技場のネーミングライツ(施設命名権)の基本契約を締結しました。2008年3月から5年間、同施設は「ニッパツ三ツ沢球技場」となります。同施設は、1955年に国体のラグビー会場として整備され、1964年には東京オリンピックのサッカー会場として使用されました。現在はサッカーJリーグの公式戦や全国高校サッカー選手権の会場として広く親しまれています。命名に際しては、地域の皆様に古くから親しまれている「三ツ沢」の名前を残しました。また今回の契約では、施設の無償使用权などもあり、市民に開放するなど有効に活用していく予定です。



記者会見で中田市長と共に新名称のボードを手にする天木社長(左)

2007年9月25日、横浜市役所で契約締結の記者会見を行いました。はじめに中田横浜市長が「地元・横浜の企業であるニッパツと契約を結ぶことができうれしい。ニッパツ三ツ沢球技場からスポーツの素晴らしさと横浜の魅力を発信したい」と述べました。続いて当社の天木社長が「横浜で育ち、地元で根ざした企業として『少しでも地域に貢献できれば』との思いで契約した。当社の知名度を高めるとともに、横浜市と協力してニッパツ三ツ沢球技場が多くの皆様にご利用されることを願っている」とネーミングライツに寄せる思いなどを話しました。



今年新設されたオーロラビジョン。上部には「ニッパツ三ツ沢球技場」の文字

2008年3月16日、Jリーグの横浜FC対湘南ベルマーレが事実上のお披露目となり、試合前の時間を借りて、オープニングセレモニーを行いました。天木社長が「この地から、当社の主力製品のばねのように、世界へ弾む選手が飛び出していくことを期待している」と挨拶すると、横浜FCのサポーターを中心に「ニッパツ、オーレ」「N・H・K、N・H・K」の大コールが巻き起こりました。



当社の看板前に陣取った横浜FCサポーターからは、時ならぬニッパツコール

今後、ニッパツ三ツ沢球技場を通じて、スポーツの素晴らしさを伝えながら、横浜そして社会の発展に貢献し続けていきます。



オープニング記念として、横浜市内の少年サッカーの163チームに3個ずつボールを寄贈

## 「10中計」を発表

2010年を最終年度とする新3カ年中期経営計画を発表しました。

### スローガン

「夢」と「可能性」を求めて  
Realizing new visions and possibilities

### 「10中計」の全社的な重点施策

- ①各事業のグローバル成長戦略の実現
- ②製品・サービスの競争力強化
- ③CSR活動の積極的な推進

### ●「10中計」の連結目標

売上高	6,200億円
営業利益額	470億円
営業利益率	7.6%
経常利益	500億円
当期純利益	300億円



アナリスト向けの中間決算説明会を初めて東京で開催。120人の参加者を前に「10中計」を発表

## 数々のテレビに登場!

2007年5月27日、TBSテレビ系「がっちりマンデー!!」ではばね業界が取り上げられ、DDS開発部長の半谷正夫さんと広報部の齊藤浩明さんが出演しました。半谷さんは「ばねナンバーワンでがっちりです!」と当社を力強くPRしました。



「がっちりマンデー!!」に出演した半谷さん

また、2007年5月31日、テレビ東京「ニュースモーニングサテライト」の特集「進化する偽造防止技術」で、トラストグラムが紹介されました。STS事業部開発営業部の吉田信介さんがインタビューに応え、当社の偽造防止技術の高さを大いにアピールしました。



当社の偽造防止製品を説明する吉田さん